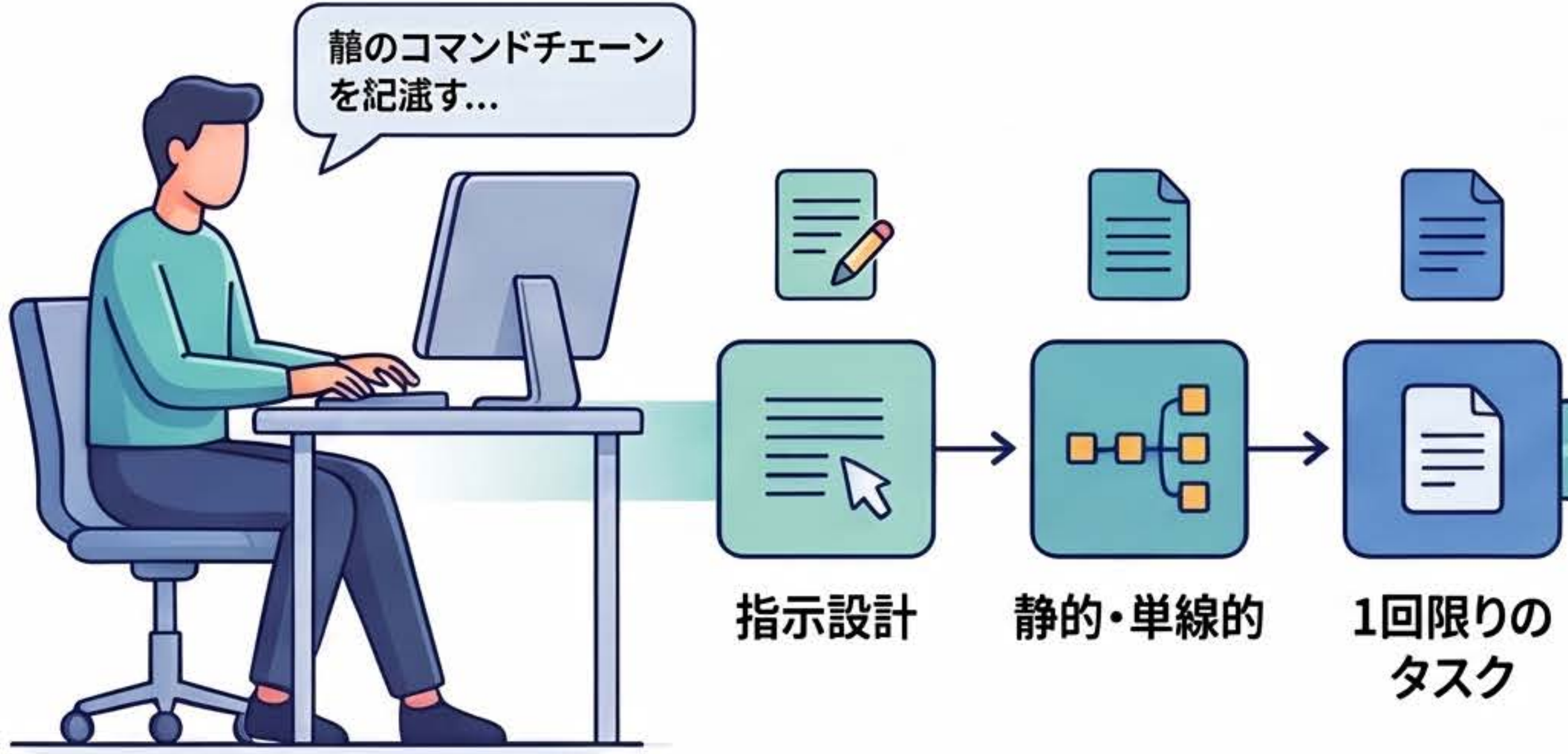


AI活用のパラダイムシフト：プロンプトから「ループエンジニアリング」による知財業務の変革

プロンプトエンジニアリング (Prompt Engineering)



記述者

評価
戦

基本概念：最適な出力を引き出す指示文の設計
システム構造：静的・単線的な指示（プロンプトチェーン）
主な適用領域：1回限りのタスク（文書要約など）

ループエンジニアリング (Loop Engineering)



コンテキストの自動最適化
システムが履歴を自動で契
約・甄定し、常に最適な作
業メモリを維持して精度を
高めます。

構造的転換：
単発の「指示」から、
自律的な「循環」へ。
人間の役割は
「記述者」から
「設計者」へ。

評価
戦

基本概念：目標達成まで反復処理を行うシステム設計
システム構造：動的・試行錯誤型の状態遷移（ループ）
主な適用領域：多段階かつ長期的な業務（自律調査など）

知財実務における変革とメリット



ドCKETTING業務の自律的プレ処理
通知書から期限等を自動抽出し、過去データや
法制ルールと照合して自律検証します。



常時稼働する競合モニタリング
公報の自動検知からリスク算出までを自律化し、
受動的な検索から能動的な予防へ移行します。



AI財か AIシステムに自動の設告
AIが実務を適化し、専門家が最終承認者
（ゲートキーパー）として法的責任を保持します。



Human-in-the-Loopによる法的統治
AIが実務を高速化しつつ、専門家が最終承認者
（ゲートキーパー）として法的責任を保持します。